

| | | | | |
|--|------------------|----------------|----|------|
| 科目名 | 日本語教授法 I - i | 前期 | 講義 | 2 単位 |
| サブタイトル | 日本語教員になるための基礎を学ぶ | | | |
| 担当者 | 堀 勝博 | | | |
| [アクティブラーニング授業] | | | | |
| PBL(課題解決型) | | 反転授業 | | |
| ディスカッション・ディベート | ○ | グループワーク | | ○ |
| プレゼンテーション | | 実習、フィールドワーク | | |
| その他 | | 実務経験のある教員による授業 | | ○ |
| <p>[到達目標]</p> <p>日本語教育の内容や方法、日本語教育で用いられる専門用語、日本語学習者の学習段階など、日本語教授法に関する基礎的知識について理解・運用できるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>日本語を学習する外国人の数は世界全体で400万人を超えと言われ、日本語教師養成が一つの課題となっているが、日本人なら、だれでも日本語を教えられるというものでもない。外国人学習者に日本語を教える日本語教師という資格を得るにはどのような体系的知識が求められるのか、この授業は、日本語教師になるための基礎知識を習得することを目的とするものである。「日本語教授法 I - i」では、教科書にもとづき、日本語教育の歴史や現状に始まり、具体的指導計画の作成や授業の進め方などについて、具体的に学習する。一方的な講義ではなく、毎回小テストを課したり、口頭発表を求めたりして、受講生の積極的な参加を求める。</p> <p>[準備学修(授業前後の主体的な学修)]</p> <p>各回、予習復習合わせて4時間程度、積極的に取り組むこと。とくに、各回、テキスト所定箇所を事前に読み、その内容を把握したうえで授業に臨むことが求められる。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入授業 —日本語教師になるために 2. 日本語教育の歴史と現状(p2-62) 3. 異文化理解と日本語教育(p.64-p.113) 4. 授業計画と評価の方法(p.116-p.133) 5. 日本語能力認定基準と指導案作成(p.134-p.153) 6. 日本語指教育におけるコミュニケーションとリテラシー(p154-174) 7. 日本語教育に必要な言語学の基礎知識(p176-191) 8. 日本語の音声—母音、子音、半母音(p194-208) 9. 日本語の音声—特殊音、アクセント、イントネーションなど(p209-226) 10. 日本語の語彙(p228-241) 11. 日本語の文法—品詞、文の種類、テンス、アスペクト、ムードなど(p.242-p.276) 12. 語用論、日本語の文字、日本語史(p.278-306) 13. まとめ | | | | |

| | | | | |
|---|------------------|----|----|------|
| 科目名 | 日本語教授法 I - i | 前期 | 講義 | 2 単位 |
| サブタイトル | 日本語教員になるための基礎を学ぶ | | | |
| 担当者 | 堀 勝博 | | | |
| <p>[成績評価方法] 授業に取り組む姿勢および小テストの評点 40% 最終見極め試験 60% ただし、上記にかかわらず、日本語能力試験N5～N1 認定基準の概要を理解していない者は、単位認定対象とはしない(最終見極め試験に問題が出題される)。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回課題や試験を実施した後、その成績や正答について、授業やmanabaを通して、解説する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] ベーシック日本語教育 著者名: 佐々木泰子編 出版社: (ひつじ書房) (978-4894762855)</p> <p>[参考書(ISBN)] 外国人が日本語教師によくする100の質問新装版 (日本語を教える) 著者名: 酒入郁子他著 出版社: パベルプレス (9.78489E+12) 講座・日本語教育学 全6巻 著者名: 縫部義憲監修 出版社: (スリーエーネットワーク) 全6巻 日本語教科書の落とし穴 著者名: 新屋映子 出版社: アルク (9784757401563) 日本語教師になりたいあなたへ 著者名: 佐々木瑞枝 出版社: 小学館 (978-4-09-840132-1)</p> | | | | |